

実施グループ：2

事業名：稼げる農業応援事業

担当課：産業政策部農林業振興課

検証結果（検証委員挙手数）		検証結果（市民判定人）	
あり方の再検討	1人	あり方の再検討	3人
実施方法の再構築	2人	実施方法の再構築	7人
実施内容の改善	1人	実施内容の改善	5人
現行通りの実施	0人	現行通りの実施	2人

検証委員からの主な意見

- トップランナーを活用した産業分野の牽引施策がいけないというわけではないが、どうやって最終的に施策分野全体へと波及させるかの具体的な流れのイメージや関連する個別施策などの組み換えや工夫がないと、本来税投入の必然・必要の薄い中上位経営者への支援に税を用いる結果になってしまう。
- 「ええもん」についても、「福知山らしさ」という部分の具体性に欠け、それを専門家の丸投げすることになっていないか。
- 今後販促支援などに移っていくとのことだが、本来事業者が負担すべき原価を税支援することには大きな問題もある。
- 目的に対しての手法がもっと効果的になる様、裾野に視野を広げるべきでは。
- 今年のロードマップを示すべき。

市民判定人からの主な意見

事業内容について

- ・「ええもん」「GAP」いずれも外部委託に任せっぱなしになっていないか。農業でもうけているのは、農家ではなく業者となっていないか。生産者、地域の熱が感じられない。
- ・きちんとした目的・組立をしっかりとの方がいいと思います。思いと目的がわからない。
- ・実施方法の見える化が必要と思えるので、改善できるところは改善し、成長できるところは成長していくことを望みます。
- ・本当に後継者を育てる方策なのか疑問。
- ・若い人が魅力を感じる必要があるのでは？

ええもん発掘について

- ・福知山の「エエもん」が認定され、前年度より所得が上がったといわれますが、当初の目的からすれば、これで十分とせず、いいモデルを作ってほしいと思います。
- ・単発の取組で、有名な「エエもん」ができたのでそれでOKという考えではなく、その後が大切かと。その後、農業者任せになるのでは意味のないことと思います。農業で経営を考えるつながりのところを強化する支援なら意味あることと思います。また、この作物をつくりたいという人が、たくさん出てきたとしたら、それをつくる人、加工やラッピングする人、そのことに関わって働く人も、増えるかもしれない（仕事を求めている人が仕事につけるなら）。税金を使うなら、人の仕事に結びつく観点もほしいです。
- ・ええもん発掘も加工品が多いが、この加工品の原材料となる物の生産者にどのようにつながって

いるのかが判らない（一次産業には、どのような影響があったのか？）

- ・ええもん発掘事業によって、ミシュランガイドに載ったレストランから引き合いが来たりという効果が、実際に農業をしている人からすると目指すものとなるのかが、素人からすると分からない。（他の手段で引き合いはとれる）
- ・1年を通して、募集するのは無理か？資料に35点とありますが、それを市民開示は出来ないのか？市民目線で見るといいのではないか？

GAPについて

- ・たまごメーカーさんのようなトップランナーが市に増えることは、市民にとってはありがたいこと。事業のあるべき姿はあくまでもトップランナーの醸成であり、広く、浅くでは効果がないと考える。
- ・GAPは仕組なので、国際規格をどのようにハンドリングするかを明確にするべき。まず、GAPを広めることから、次にGAPをコーディネートし、アドバイスすることが必要。
- ・消費者から見ると、意味がわからない。GAP認知不足だと思います。役所仕事の典型。
- ・事業の目的に対して、施策が合致していないのではないか？GAPの取得についても補助金ではなく、実務手続き等を支援すべきではないか。
- ・GAPは生業が成り立っていることが前提で取り組むべきテーマではないか。
- ・稼げる農業応援事業があるということを初めて知りました。加工品の部についてはもっと一般の人が購入しやすい品物を認定品にしたらいのではないかと思います。

対象について

- ・具体的な対象者は誰なのか。専業農家、兼業農家、外部からなのかが明確でない。
- ・GAPは組織的農業経営でないと継続的発展ができないのではないか？
- ・個人事業の農家は初期費用、維持管理に壁を感じないか。

事業の周知について

- ・農業等一次産業の魅力を示す方法、若者へアピールする方法の再考が必要。
- ・もう少しPRを大々的にしてほしい。例えば、私の地元は筍の産地ですが、「ええもん」のこのような施策があることを生産者が知っているかどうかということです。

その他

- ・税金の投入が、市民へどのように還元されるのかも明確にするべき。
- ・目的を達成するための目標とスケジュールが明確でない。
- ・鑑定人に市民も参加できないか？
- ・「稼げる農業」というより「身近な農業」へ、若者誰もが、もっと気楽に相談、サポート出来る機関としての市のサポートが必要だと思う。
- ・エエもんの中に入らなくても良い物はあるだろう。募集期間は夏だけ？冬のものとか、冬場の加工品とか色々ありそうだけど。
- ・農業とは1年を通してやるものだろう。農業というものに対して、税金を投入することに異議はないが、GAPをとらないとダメなのか？